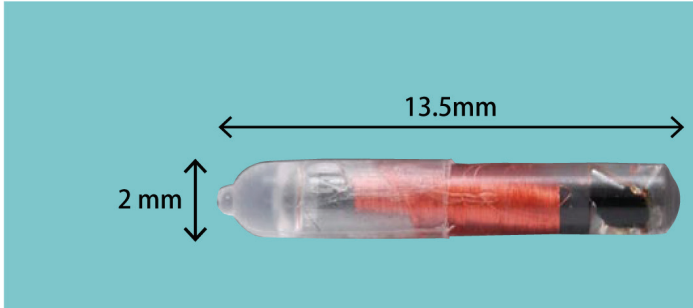


# ■ マイクロチップ ■

馬の左頸中央の項韌帯<sup>こうじんたい</sup>又はその付近に埋め込まれたマイクロチップの番号をマイクロチップリーダーで読み取り、その番号を記載する。

## 馬用マイクロチップの概要

マイクロチップの拡大図



写真は、ライフチップ  
製造元：Destron Fearing 社(旧：Digital Angel 社)  
販売元（輸入発売元）：大日本住友製薬(株)

マイクロチップ埋め込み用注射器



(マイクロチップは注射液の中にセットされている)

マイクロチップリーダー



写真左は、Destron Fearing 社(旧：Digital Angel 社)製造の「ポケットリーダー EX」  
右は、AVID 社製造の「パワートラッカー VI」

日本におけるマイクロチップ番号 15桁

**392 11 XX XXXXXXXXX**

国番号 (日本)      動物番号 (馬)      个体番号

- リーダーから発信される電波が電磁誘導によりマイクロチップ内のコイルアンテナに電力を発生させる。
- マイクロチップから応答電波が発信される。
- リーダーが応答電波を受信し、15桁の番号を表示する。
- 同一番号は存在せず、データの改ざんは不可能。
- 個体番号には、性別、毛色、特徴などの情報は一切含まれていない。データベースとマイクロチップ番号を介して照会が出来る。

## マイクロチップの審査

- マイクロチップの埋め込み部位は、馬の左側頸部中央、耳根と鬃<sup>きこう</sup>前縁との中間点の項韌帯<sup>たてがみ</sup>又はその付近。
- 審査は、リーダーを左頸鬃<sup>きこう</sup>前縁<sup>たてがみ</sup>の鬣の生え際にあて、ゆっくり下から上へ移動させる。番号が確認できた場合でも複数埋め込まれている可能性があるため、再度、上から下へあてる。念のため、右側も同じように確認する。(リーダーは、同時に複数の番号を表示出来ない。)なお、番号は中間点より上の位置で確認されることもある。

